

1. 学ぶ内容

- ・自宅避難生活に必要な防災グッズの種類と活用法

2. ねらい

自宅で避難生活を送る場合、こういった防災グッズが有効かを暗記クイズ形式で学習する。

3. 授業の流れ

- (準備) ① もんだいシート、かითうシートを印刷しておく(個人もしくは班ごとに配布)
② おうちのそなえチェックシート「防災グッズ」を印刷しておく(全員に配布)

実施の流れ	内容	ポイント
導入 (3分)	「防災グッズ」のイメージを共有する 防災グッズとは何なのかについて話し合い共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズについて、子どもたちとやりとりする(知っている防災グッズ/何のためのグッズなのか/家にあるかどうか など)。 ・避難所などに持ち出すもの(持ち出し品)や家に置いておくものなど、状況によって準備すべきグッズの種類が違うことを伝える。 ・近年、避難所に入れないことが予想されており、地震後自宅で過ごすために家に置いておくグッズが重要であることを伝える。
展開 (10分)	「もんだいシート」、「かითうシート」を配る。	
	防災グッズを知る(覚える) 家においておくの良い防災グッズを覚える	<ul style="list-style-type: none"> ・「もんだいシート」を配り、裏を上にして(絵が見えないように)置いてもらう。 ・ルールの説明をする[もんだいシートに載っている防災グッズを1分間で覚える/1分経ったらもんだいシートを裏返し(絶対に見ないこと)、かითうシートに答えを記入する]。 ・スタートの合図で「もんだいシート」を開き、1分間でグッズを覚えてもらう(暗記中はグッズ名を1つずつ読み上げたり「残り〇秒」とカウントダウンをするなど声をかける)。 ・1分経ったら「もんだいシート」を裏返し、絵が見えないようにする。 ・「かითうシート」に、覚えたグッズ名を記入してもらう。
	グッズの役割を知る 覚えた防災グッズがなぜ役に立つのかを知ってもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつひとつ答えを発表しながら、各グッズが災害時どのように役立つのか説明する。
まとめ (2分)	「おうちのそなえチェックシート 防災グッズ」を配る。	
	学んだことをおさらいする お家での備えをうながす	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートを見ながら今日学んだことをおさらいする。 ・「チェックシートを使って、お家にグッズがあるかどうか確認してみよう!」と家庭でのチェックを促す。 ・「足りないもの、準備できていないものがあつたら、お家の人と一緒に準備しましょう」と伝える。

[中・高学年用かいとうシート解説書]

[中・高学年用かいとうシート]

いえ お ぼう さい 家に置いておくとよい防災グッズリスト

おぼえたグッズのなまえを書いてみよう！

グッズのなまえ	メモ
1 LEDランタン	部屋を明るくするのに便利。最低3個必要。
2 はみがきよう ウェットティッシュ	水道が止まって歯みがきができないときに使う。 口の中が汚れると病気になるやすい。
3 からだふき ウェットタオル	お風呂に入れない時に体をふく。誰かに頼まず自分 ひとりで背中がふける大きいサイズのものがいい。
4 ラップ	食器に被せて洗う水の節約に。ケガをした時、包帯 代わりに使うこともできる。
5 けいたいトイレ	水が止まるとトイレが使えなくなる。4人家族の場合、 1週間で60～70枚は必要。
6 しんぶんし	折り紙のように折って食器にできます。丸めると骨が 折れた時の添え木にもなります。
7 ポリぶくろ	小さい袋は水が止まり手が洗えない時の手袋代わりに。 大きい袋はダンボールに被せると水を運ぶ容器になる。
8 みず	1人1日3L × 家族の7日分の準備をしましょう。
9 ひじょうしょく	家族3～7日分の量を準備しておきましょう。
10 カセットコンロ・ ボンベ	物をあたためたり、料理をしたりするのに必要。

[補足説明]

口の中だけでなく、食器やスプーン、
フォークなど、また、手をふくのにも使えて
便利です。

包帯として使う場合、肌荒れすることが
あるので注意。

使うときは、直接トイレにかけるのではな
く、市販のゴミ袋を1枚かぶせてから使う
のがポイントです(トイレの底に溜まって
いる水が袋につくのを防ぐため)。

防寒やトイレを手作りする際の吸収剤な
ど、多用途で使えます。

大中小色々なサイズがあると便利です。

4人家族の場合、スーパーで売っている5
箱分必要です(2ℓペットボトル6本入りの
ケースで売られています)。

レトルト食品や缶詰など、種類が増えて
います。おいしいものを選びましょう。

ガスは復旧まで1ヶ月かかるので、1ヶ月分
の15～20本準備しておきましょう(朝・
昼・晩の食事の際に15分ずつ使った場
合)。



SAITAMA ITSUMO BO-SAI

[ポイント]

・実物を用意し、使い方を実演しながら説明できると、理解が深まり良いでしょう。

[低学年用かいとうシート解説書]

[低学年用かいとうシート]

いえ お ぼう さい 家に置いておく^おとよい防災グッズリスト

おぼえたグッズのなまえを書いてみよう！

グッズのなまえ	メモ	
1 ラップ	食器に被せて洗う水の節約に。ケガをした時、包帯代わりに使うこともできる。	包帯として使う場合、肌荒れすることがあるので注意。
2 しんぶんし	折り紙のように折って食器にできます。丸めると骨が折れた時の添え木にもなります。	防寒やトイレを手作りする際の吸収剤など、多用途で使えます。
3 ポリぶくろ	小さい袋は水が止まり手が洗えない時の手袋代わりに。大きい袋はダンボールに被せると水を運ぶ容器になる。	大中小色々なサイズがあると便利です。
4 みず	1人1日3L×家族の7日分の準備をしましょう。	4人家族の場合、スーパーで売っている5箱分が必要です(2ℓペットボトル6本入りのケースで売られています)。
5 ひじょうしょく	家族3～7日分の量を準備しておきましょう。	レトルト食品や缶詰など、種類が増えています。おいしいものを選びましょう。



SAITAMA ITSUMO BO-SAI

[ポイント]

- ・家にもあり、子どもが知っている(見たことのある)と思われるグッズを5つ選んでいます。もし知らないようであれば、必要に応じて補足説明をしてください。
- ・実物を用意し、使い方を実演しながら説明できると、理解が深まり良いでしょう。